

西区農業委員会だより

第46号
平成30年
8月1日

新潟市西区農業委員会：〒950-2097 新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 TEL 025-264-7811

天まで届け 西区の「Watermelon」



場所：西区赤塚メイワサンピア

写真は7月7日に行われた「すいかまつり」の様子です。

地区別懇談会を開催しました

5月8日から11日にかけて、内野、坂井輪、赤塚、中野小屋、黒埼の各地区5会場で、農業者の代表と農業委員会委員及び事務局による懇談会を開催いたしました。

これは、農業委員会活動の浸透を図るものとして毎年実施しているもので、農業委員会業務全般と農業振興、農地法関連施策の説明を行いました。



(写真：黒埼地区懇談会)

「西区新鮮あさ市」大好評!

「西区新鮮あさ市」が5月27日から10月28日まで開催されています。

地元ご常連さんも増えてにぎわっています。

場所 西区役所本館駐車場

日時 毎週日曜日 午前6時45分から7時30分まで (売り切れ次第終了となります)

問い合わせ

西区農政商工課 ☎264-7630



(写真：西区役所本館駐車場)

平成30年度視察研修に参加して

農業委員 久川きよみ

新緑がむせかえるような五月晴れの5月21日、22日の2日間、農業委員会の視察研修に、事務局を含めた総勢21名で参加してきました。

初日は、富山県入善町にある「(有)ドリームファーム」を訪れ、法人設立の経緯や経営の概要の説明を受けました。設立17年の歴史ある法人で、役員2人、雇用者11名、経営面積は作業委託も含めて107.2haと規模の大きな法人でした。

経営は水稻を中心としてキャベツ、チューリップの切り花などの園芸作物の栽培や、米粉ラーメンの6次産業化など多角経営を実現していること、販売もJA出荷30%、業者販売30%、自社直売が40%であり、年商1億4千万円であるなどの説明を受けました。

また、^(注) ASIA GAP を初めとしてエコファーマー等各種の認定を受け、従業員の意識向上を図っているとのことでした。参加者からは、関心の高い事柄が多く盛んに質問が出されていました。

2日目は、氷見市の「JAグリーン氷見」直売所を見学し、開店早々の見学にもかかわらず、相当数の来客者があり地域に密着している直売所なのだと感心しました。

2日間とも天候に恵まれ、研修内容も濃く大変有意義な研修でした。

(注) ASIA GAPとはアジア共通の基準として食の安全や環境保全に取り組む農場や農協等に与えられる認証です。



田巻義之氏、春の叙勲で旭日単光賞受賞

5月11日(金)、春の叙勲で、前西区農業委員会会長の田巻義之氏が、齋藤健農林水産大臣より旭日単光賞を授与されました。授章後は、皇居において奥様のサヨ子さんとともに、天皇陛下に拝謁されました。

田巻義之氏は平成2年より農業委員として活躍され、平成19年2月から平成28年3月までの間、西区の会長を3期9年間務められました。会長在任中は、関係機関と連携し、耕作放棄地プロジェクトチームを立ち上げるとともに、一般法人の農業参入促進や、全国への「西区農地情報発信サイト」など耕作放棄地の解消に大きく寄与されました。

また、農業者年金の加入促進など、地域の農業振興にも大いに尽力されたことから当農業委員会とともに平成28年に農林水産大臣賞を受賞されたところです。当農業委員会もこれら多くの功績が今回の叙勲につながったものと、心からお慶び申し上げますとともに、これからも健康でご活躍されることを期待しています。



人・農地プランに取り組んでいます！

現在、西区では中野小屋地区大友、黒埼地区大潟、赤塚地区藤蔵新田の3地区で、人・農地プランに取り組んでいます。人・農地プランは耕作者がより作業しやすいよう農地の集積、集約化を図り農地利用の最適化推進するため地域で作成するものです。

今後は、農地利用の移動に向けた検討や手続きを行ってきます。なお、こうした取組に興味のある地域については、西区役所農政商工課(025-264-7610)へお問い合わせください。



(写真：大潟地区説明会)

家族経営協定調印式が行われました

平成30年7月3日、JA新潟みらい西グリーンセンターにおいて、松井農業委員立会のもと、家族経営協定調印式が行われました。今回の調印された方は、赤塚地区谷内の田村良昭さんご家族です。

家族経営協定とは、目的・夢の実現に向けて、家族で話し合いを行い、労働報酬や休日、経営方針等を決め、農業経営や生活経営面での必要なルールを明文化するものです。それをきっかけにして、農業に携わる家族全員の農業経営に対する参画意欲が高まり、農業経営の発展が期待されるというものです。

現在西区では、この田村さんを含め54組の農家の方が家族経営協定を締結されています。



(前列が田村さんご家族です。)

農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します

○新潟市西区農業委員会の農業委員

農地に係る許認可、農地利用の最適化の推進に係る業務を行う農業委員を募集します。

募集人員 19人以内

対象 農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項その他の農業委員会の所掌に関する事項に関し、その職務を適切に行うことができる方

任期 平成31年4月1日～平成34年3月31日

報酬 43,000円以内（月額）

応募方法 団体や個人からの推薦、自ら応募 ※所定の様式を提出してください。
くわしくは募集要項をご覧ください。

募集期間 平成30年10月1日（月）～10月31日（水）

TEL 025-226-1764

【お問い合わせ】農林水産部農林政策課 TEL025-266-1764

○新潟市西区農業委員会の農地利用最適化推進委員

担当区域において、農地利用の最適化の推進に係る業務を行う農地利用最適化推進委員を募集します。

募集人員 16人 ※担当区域ごとに募集します。区域の詳細は募集要項をご覧ください。

対象 農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項その他の農業委員会の所掌に関する事項に関し、その職務を適切に行うことができる方

任期 委嘱の日（平成31年4月初旬）～平成34年3月31日

報酬 40,000円以内（月額）

応募方法 団体や個人からの推薦、自ら応募 ※所定の様式を提出してください。
くわしくは募集要項をご覧ください。

募集期間 平成30年10月1日（月）～10月31日（水）

【お問い合わせ】新潟市西区農業委員会事務局 TEL025-264-7820

※両委員の募集要項は、農業委員会事務局、西区農政商工課、で配布しています。

また、新潟市ホームページからもダウンロードできます。

「熱中症」に気を付けよう。

農作業中の熱中症による死者数は、毎年20人前後で推移し、7・8月に70～80代の方が屋外作業を行うときに集中して発生しています。

特に、ビニールハウス内での作業中による熱中症がもっとも懸念されます。

気象庁の発表によると、今夏も昨年同様、暑熱環境下での農作業が予想されます。

農業従事者の中には熱中症の具体的な症状が分からず、知らず知らずに熱中症にかかっている方が多くいます。特に高齢農業従事者は発汗量が多く脱水しやすいため、こまめな（30分～1時間）「水分」と「塩分」の補給や休憩に心がけ、周囲の方と協力して声かけを行う等、熱中症対策が必要です。

みんなで読もう全国農業新聞

農家の経営と暮らしに役立つ情報をお届けする新聞です！

・月4回発行（毎週金曜日） ・購読料：1か月700円

・お申込みは・・・

西区農業委員会事務局へ ☎264-7811

7・8月は農地パトロール月間です

西区農業委員会では、農業委員・農地最適化推進委員・JA等関係機関と共に8月に、遊休農地実態調査を実施します。遊休農地の発生防止や解消、農地への不法投棄の早期発見と是正指導は、農業委員会の重要業務の一つとなっています。

農地は大切な資源です。地域の優良な農地を、みなさん一人ひとりの意識や行動で守っていきましょう。